

4点 適正である：3点 やや劣っている：2点 劣っている：1点

評価項目	No	評価基準	評価方法	平均値	項目平均値	コメント(理由・課題等)まとめ
(1)経営状況	1	図書館の収支のバランス、支出は適切か	報告書類により確認する	4.0	4	
(2)基幹業務	1	カウンターサービスは適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	3.0	3	概ね良好。スタッフによっては、もう少し利用者に寄り添った対応をしたほうがよいと思われる。
	2	予約リクエストサービスは適切にされているか(予約リクエストの案内、相互貸借の案内、閉書案内等)	報告書類や現地にて現状を確認する	3.0		予約サービスは適正に行われているが、案内の工夫や進捗状況の見える化など改善の余地がある。
	3	レファレンスサービス・調査相談室の運営は適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	2.8		レファレンスサービスの案内がされておらず、調べ物の支援をできる状況でない。職員の研修機会や人員は確保されている。
	4	移動図書館サービス(定期巡回、アウトリーチ活動)は適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	3.2		他機関との共催によるイベント開催、高齢者・子ども双方へのサービスが実施されている。巡回訪問のニーズの掘り起こしも必要。
	5	映画会や各講座、イベント等の集客活動は適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	3.3		大人向け映画会は多くの集客がある。おはなし会などのイベントが多数開催されている。
	6	カフェルーム、閲覧席、研修室、コミュニティ等の部屋が活用されているか	報告書類や現地にて現状を確認する	2.8		コロナ対策を講じながら適切に運用されている。研修室の利用についての案内がない。
(3)選書	1	蔵書状況・選書・蔵書構成は適切か、分野に偏りがなく蔵書されているか	現地で現状を確認する	3.2	3	分野により蔵書に偏りがあるように思われる。369(社会福祉)の蔵書が少ない。雑誌や人気本に偏ることなく、知識の集積にも力を入れた蔵書となっている。
	2	館内の本の展示、ポップ等での本の紹介、読みたくなるような工夫が適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	3.2		学習席の近くに進学や就活の書籍を紹介するコーナーを設け、多くの利用につながった取組は評価できる。展示の趣旨説明や読みたくなる一言コメントの掲示など工夫があればよい。
(4)広報	1	利用者への図書館サービスの情報発信、イベント等のPRは適切に行われているか	現地やHPにて現状を確認する	3.2	3	Twitterでの情報発信などよく行われている。
	2	未利用者へ利用を促すための広報活動、PRの工夫が適切に行われているか	報告書類(図書館およびチラシ等)やHPにて確認	2.8		アンケート手法にWEB回答が追加された。未利用者へのアンケートは意義があるため、まだ回答数は少ないが、継続的な取り組みを期待。
	3	施設周辺及び館内の利用案内等はわかりやすく工夫されているか	現地やHPにて現状を確認する	3.2		横山駅からのアプローチで案内が全くないので何か欲しい。わかりやすい書架でアピールも良好である。
(5)ITを活用した図書館サービス	1	電子図書館の運用について評価できるか	報告書類や電子図書館を確認する	3.2	3	貸出回数が増え、コンテンツの充実も進んでいる。小学生・中学生、その親世代には徐々に浸透していると思われる。
(6)子どもの読書活動推進	1	子どもへの資料(絵本、雑誌等)提供は適切にされているか、児童室・絵本コーナーにおいて、子ども向けにわかりやすい案内がされているか、資料は過不足なく蔵書されているか	児童室、絵本コーナーを現地にて確認する	3.3	3	子どものコーナーへ誘導する案内が欲しい。本館児童室の蔵書は充実しており、見た目も分かりやすい。
	2	おはなし会、子ども向け各種行事の開催回数は妥当か、または適切にされているか	報告書類や現地にて現状を確認する	3.2		コロナ禍で参加人数を増やし難い状況であるが、しっかりと運営されている。
	3	ヤングアダルト向け資料の充実と読書環境の整備は適切か	報告書類や現地にて現状を確認する	3.0		対象年代となる中高生の多くは図書以外から情報収集するためか、利用者は限られている。現在行っている学習席を使う学生や20代の社会人向けに図書へ目を向けてもらうための取り組みなど根気強く取り組むことが大事。
	4	読書通帳の運用(案内、PR等)について評価できるか	報告書類や現地にて現状を確認する	2.7		読書通帳をもっとアピールすべき。読書を始め低年齢の頃から始められると自分の読書履歴が分かり意味がある。低年齢層への普及に工夫が欲しい。
(7)学校連携	1	読書学習の取り組みや団体貸出等について評価できるか	報告書類により確認する	3.2	3	小学校のタブレットで電子図書館を気軽に使える取組に期待。子供たちが気安く質問を行える相談窓口があると良い。ネットを活用した工夫も欲しい。
(8)高齢者、障害者、外国人の読書環境づくり	1	高齢者の読書環境づくりをすすめているか(大活字本コーナーの充実)	報告書類や現地にて現状を確認する	3.0	3	大活字本のコーナーはどこにあるのか分からなかった。高齢者施設への移動図書館サービス実施が評価できる。
	2	障害者の読書環境づくりをすすめているか(点字・録音図書の出貸、対面朗読等)	報告書類や現地にて現状を確認する	3.0		障害者の読書環境づくりに力を入れてほしい。館内の案内が無かった。障害者団体にヒアリングを行なってほしい。タブレットを用いた対面音訳や展示企画を実施できている。点字・録音図書の存在を障害者クラスや学校、職業訓練校などにも告知できるといい。
	3	外国人の読書活動づくりをすすめているか(多言語資料の収集)	報告書類や現地にて現状を確認する	2.5		在住者が多いと思われる東南アジア諸国の本がない。外国人利用者の利用状況の実態が見えてこない。利用者アンケート調査で利用言語に関する項目の設定も必要と思われる。
(9)ボランティアとの協働	1	図書館関係団体・各ボランティア団体との協働において情報共有や連携した活動が適切にされているか	報告書類により確認する	3.2	3	郷土史関連団体や、読み聞かせ・紙芝居、本の修理、障がい者サービス等のボランティアとの連携が行われている。

【今年度のテーマ「図書館内外への図書館方法の発信」について】

- ・市役所窓口(障害福祉課)におけるブックリストの配布は、ニーズに即した取組として評価できる。不特定多数に向けた広報も重要だが、少数でも情報を必要とする利用者への情報発信を進めてほしい。
- ・小学校児童への電子図書館サービス案内の配布や障害福祉課におけるブックリストの配布など、新たな広報活動が評価できる。
- ・基本的なところは十分実施できているが、来館者の立場にたったひと工夫がほしい。

【その他】

- ・ワンストップ相談窓口があれば、案内表示がシンプルになり、利用者満足度も上がると思われる。
- ・利用者の意見はよりよい図書館にするための大きなヒントとなるので、意見箱とその回答の掲示があればよい。
- ・予約本の準備状況の進捗がネットで確認できるとよい。
- ・アンケートによりニーズ調査が行われているが、ニーズは変わるものなので継続が重要。
- ・人気のある本は予約の待ち日数が長くなる。複本の購入は幅広い蔵書構成の観点からは好ましくないため、貸出期間の短縮を行ってはどうか。
- ・特別展示室の三田青磁について、シビックプライドを育てるような展示の工夫が必要。